

学会企画シンポジウム 4

自己調整学習と協働の関係再考

企画・司会 : 伊藤崇達 (九州大学)

企画・話題提供 : 岡田 涼 (香川大学)

自己調整学習における協同的な学習に対する動機づけの役割

話題提供 : 町 岳 (静岡大学)

共調整, 社会的に共有された調整の視点から

話題提供 : 木村明憲 (桃山学院大学)

学習の調整にむけた ICT 活用の可能性

指定討論 : 一柳智紀 (東京大学)

指定討論 : 富田英司 (愛媛大学)

企画趣旨 :

現在の学校教育では, 主体的な学びが重視されている。主体的な学びを捉える学術的基盤である自己調整学習の理論は, 1980 年代から多くの実証的, 実践的研究をもとに発展してきた。日本における教育の動向として, 多くの場面で自己調整学習に関する考え方が取り入れられており, 次期学習指導要領においても児童生徒の自己調整を重視する方針は変わらず, むしろよりその重要性を増す可能性も推察される。学校教育では, 伝統的に協働的な学びも大事にされており, それを自己調整学習とどのように統合的に捉えるかについて模索している状態がある。自己調整学習の研究では, 他者との協働に関わる要素を重視してきており, 近年さらなる展開も見られている。本シンポジウムでは, 自己調整学習と協働とのあいだにどのような関係を想定し得るかについて, いくつかの研究領域をもとに考えたい。議論を通して, 今後の教育実践における自己調整学習と協働的な学びのあり方や方向性を展望する。